



令和7年度 当初予算案の状況について

子育て環境の充実（待機児童対策）

待機児童解消に向けて保育所2か所の整備、保育士の確保と定着化を実施します。

■ 保育所の整備

予算250,821千円

園名	小規模保育所（園名未定）	（仮称）認可保育園守山こども芸術大学
開所時期	令和7年7月	令和8年4月
場所	関西みらい銀行跡地	立入が丘小学校隣地
定員	19名（0歳から2歳の小規模保育事業）	90名（0歳から5歳）
運営法人	社会福祉法人洛和福祉会	学校法人瓜生山学園
予算措置	守山市地域型保育事業費補助金 3,750千円	守山市就学前教育・保育施設整備費補助金 247,071千円

■ 保育士の定着化と確保に関する支援制度 予算223,873千円

定着化

保育士
ケア

- ・低年齢児保育事業（国基準以上の職員配置）(公)民 84,240千円
- ・もりやま手当（市独自の手当支給）【R6拡充】(民) 51,805千円
- ・保育士保育料補助金【R5創設、R6幼稚園教諭拡充】(公)民 10,831千円

『定着化』 予算合計
146,876千円

※主なものを抜粋

確保

保育士
ケア
の
推
進



- 1 保育士への支援（民間園勤務等条件あり）
 - ①新規採用保育士等臨時給付金【R5拡充】(民) 13,300千円
 - ②保育士等奨学金返還支援事業費補助金【R5拡充】(公)民 8,160千円
- 2 民間園への支援
 - ①保育補助者雇上強化学業補助金【R7新規】 35,805千円
 - ②宿舍借上げ支援事業費補助金【H29～】 14,732千円
 - ③保育士等確保事業費補助金【R2～】 5,000千円

『確保』 予算合計
76,997千円

給食提供による食育環境の充実

(新) 幼稚園給食開始（搬入方式）

同じ食事をみんなで分かち合うことで、食への意欲や関心を育み、子どもたちの健全な成長・発達を図るとともに、保護者の負担軽減にも繋げるため、幼稚園給食を開始します。



外部搬入給食委託料 **101,783千円**

施設外で調理した給食を搬入し、各クラスで配膳します。

人件費（配膳員） **11,968千円**

給食の受取りや納品確認、配膳等を行う配膳員を各園に配置します。

(臨) 物価高騰対策交付金の活用による保、小、中給食費の据置

国の物価高騰対策交付金を活用し、給食費を現行と同額に据え置きます。

公立保育園等	公立園給食物価高騰対策支援事業	600千円
民間保育園等	保育所等食料品価格高騰対策支援金	33,139千円
市立小中学校	小中学校給食物価高騰対策支援事業	27,200千円

子育て環境の充実（こどもの居場所づくり）

子育て支援拠点施設を建替後の平和堂守山店内に令和7年11月のオープンを目指して整備します。

テーマは“気軽に立ち寄り『交流・相談・息抜き・学べる』子育て広場”

機能

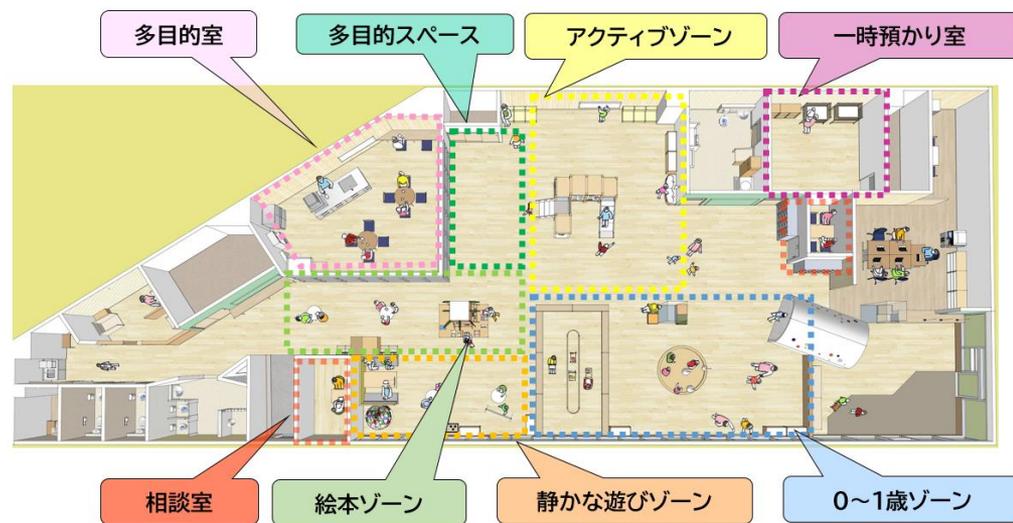
- ・ 遊びの広場、多目的室、相談室など
- ・ 子育て相談
- ・ 一時預かり事業
- ・ 子育てサークルの活動の場
- ・ 子育て情報の発信

○整備事業費

- ・ 整備工事費等 127,009千円
- ・ 備品購入費 10,120千円

○運営費

- ・ 指定管理料 12,370千円
- ・ テナント賃料等 15,166千円



子育て環境の充実（こどもの居場所づくり）

（新）小学生の放課後の居場所づくり事業 7,700千円

ニーズが高い児童の放課後の居場所について、専門的な知識・ノウハウを活用するなか、放課後児童クラブにおける待機児童の解消につながるよう、学校施設を活用した新たな放課後の居場所づくりを検討します。

（新）中高生の憩いの場「IKOI」実証実験事業 150千円

中高生サミット2024で提言のあった学びと遊びの共存する中高生の憩いの場「IKOI」を学生自らが運営実施

期 間：令和7年6月、10月予定 ※1か月間の実証実験を2回実施
週2日（月・水） 16時～19時

会 場：市役所1F多目的ホール



（拡充）こどもの居場所・学習支援事業 3,700千円

居場所を必要とする子どもの生活向上のため、学習できる場所、安心できる場所、人とつながれる場所の提供を週2回程度行います。新たに夏休みなど長期休暇期間中において、北部地域をモデルとした事業を実施します。

（新）図書館集会室の開放 1,502千円

土・日・祝、長期休みに図書館(本館・「本の森」)の集会室を、学習コーナーとして開放します！

期 間：6月1日（日）開始予定
*貸館の利用がない日のみ開放します。予約不要です。

場 所：図書館（本館・「本の森」）1階集会室



不登校対策の充実

児童生徒が **安心して過ごせる居場所づくり** に取り組みます。

教育支援センター
校内教育支援センター
(SSR) の環境整備
【予算：3,746千円】



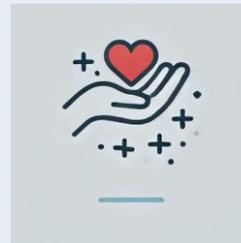
「教育支援センター」
追加の備品整備
「小中学校の校内教育支援センター」
各校の状況を踏まえ、
**SSRへの
更なる備品整備**

やすらぎ支援員の
配置拡充
【予算：11,132千円】



「小学校」
週3日
⇒ **週5日に拡充**
(玉津・中洲除く)
「中学校」
守山南中に
1名追加配置

こころの健康観察
【予算：校務系用端末・
校務系支援システムリースを含む】



「1人1台端末の活用」
健康観察・教育相談システム
ここタンの導入
児童生徒の心の状態を可視化し、早期のケア、適切な支援

フリースクール等利用
児童生徒支援
【予算：3,000千円】



「認定事業者」
10者 (1月末現在)
認定事業者の拡充を図り、家庭や学校以外での居場所づくり、学習機会の確保

妊娠・出産支援の充実

(新) 産前産後の子育て応援家事サポート事業 4,162千円

開始予定時期：令和7年9月

対象：妊婦、1歳未満（多胎児は3歳未満）の子どもがいる保護者

助成方法：妊婦1人につき2万円分、1歳未満の子ども1人につき2万円分、多胎児は1人につき6万円（2万円×3年分）の家事支援助成クーポンを配付



(拡充) 産後ケア事業

3,647千円

県内集合契約により利用可能施設を増やすとともに、実施医療機関に対しては多胎児加算などにより受け入れ体制を整え、産後ケアを必要とする全ての産婦が利用できる体制を整えます。



(新) 1か月児健診

3,988千円

これまでの妊婦健診や産婦健診、新生児聴覚検査の助成に加え、1か月児健診を実施し、産前産後の切れ目のない支援を充実します。



市民の生活に寄り添う取組の推進

(拡充) ひきこもり支援の充実

6,566千円

専任の相談員による相談体制を拡充（週3日→週5日）するなど、安心して相談できる体制を整備します。

障害福祉サービスの充実

【継】 障害児通所サービス事業費

744,821千円

児童福祉法に基づく児童発達支援(43,700千円) や放課後等デイサービスなどの障害児通所サービスの給付(686,500千円) を行い、発達支援や相談支援の充実を図ります。